

**製品名: MAST4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13663**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	36kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAST4
別名	MAST4; KIAA0303; Microtubule-associated serine/threonine-protein kinase 4
遺伝子 ID	375449.0
SwissProt ID	O15021
免疫原	抗血清はヒト MAST4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

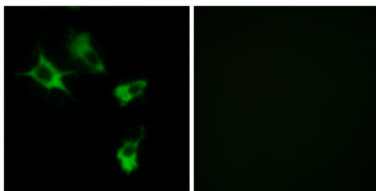
**背景**

この遺伝子は、微小管関連セリン/スレオニンプロテインキナーゼのメンバーをコードします。このファミリーのタンパク質は、キナーゼが自身の骨格を決定し、キナーゼ活性の効果を制御する能力を与えるドメインを含んでいます。選択的スプライシングによ

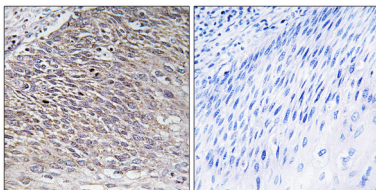
り、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2014 年 3 月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。注意: ここに示す配列は、Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮する必要があります。補因子: マグネシウム。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。類似性: 1 つの AGC キナーゼ C 末端ドメインを含みます。類似性: 1 つの PDZ (DHR) ドメインを含みます。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。組織特異性: 精巣、小腸、結腸、末梢血白血球を除き、ほとんどの正常なヒト組織で高度に発現します。

## 研究分野

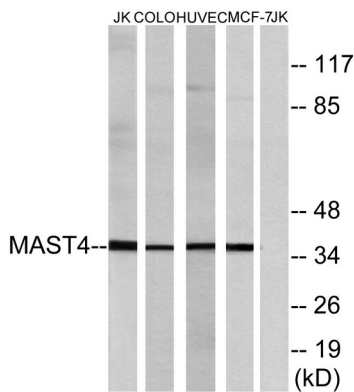
## 画像データ



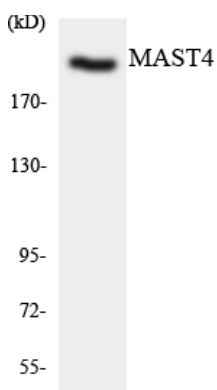
MAST4 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



MAST4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



MAST4 抗体を用いた Jurkat 細胞、COLO 細胞、HUVEC 細胞、MCF-7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MAST4 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

